

番号	3-1-6	表題	臭化ナトリウムをトレーサー物質とした汚泥処理返流水の影響評価による運転の工夫	
内容	みやぎ水再生センターでは汚泥処理の更なる効率化に向け、他センターからの受泥の一部処理を平成30年度に開始したところ、りん処理が著しく不安定となる処理系列が発生した。このため、トレーサー調査に着手し、汚泥処理返流水（返流水）の定量的な影響把握を行った。トレーサー物質は、水質試験室で簡便に分析ができる臭化ナトリウムを選定し、処理系列への返流水の分配割合、反応槽の滞留時間と短絡の大きさを調査した。返流水の流入割合が7～8割と評価した東処理施設では、従来の窒素除去を優先した擬似AOAO運転（4槽）から、2槽をA0運転に切り替える等の運転変更を行い、窒素処理とりん処理の両立を図った。			
キーワード	トレーサー調査、返流水りん、臭化物イオン、混合特性調査、流動調査			
処理区名	小台処理区	位置区分	処理場 水再生センター	
職種区分	環境検査	施策区分	維持管理向上	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和元年度	全体期間		
担当部署	西部第二下水道事務所 みやぎ水再生センター			
発表履歴	局内	令和元年度 水質技術研究発表会		
	局外	令和2年度 第57回下水道研究発表会		
調査方法	直営			
関連情報				